

# 日 絹 月 報

令和4年12月号 第533号

発行：一般社団法人日本絹人織織物工業会  
日本絹人織織物工業組合連合会  
Tel 03-5244-4243  
URL <http://www.kinujinsen.com>

## 本号の主なニュース

1. 「冬季の省エネルギーの取組について」を決定
2. 第144回通商問題委員会の開催
3. 下請取引の適正化について、関係事業者団体に要請
4. 「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を踏まえた事業者支援の徹底等について要請
5. JFW-JC2023/ PTJ2023AW 開催報告
6. 絹・合織織物の展示会開催等助成事業の公募
7. セーフティネット保証5号の対象となる指定業種

## ◇ 「冬季の省エネルギーの取組について」を決定 ◇

令和4年11月1日  
経済産業省  
資源エネルギー庁

本日、経済産業省は、省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議において、「冬季の省エネルギーの取組について」を決定しました。


省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議は、関係政府機関で構成されており、毎年、夏と冬に開催されています。本日、当該会議にて「冬季の省エネルギーの取組について」（別添）を決定しました。

この決定に基づき、各方面に省エネルギー・節電の取組を呼びかけるとともに、各種コンテンツを用いて省エネ・節電についての周知等を行うことにより、国、地方公共団体、事業者及び国民が一体となった省エネルギーの取組をより一層推進することとしています。


皆様におかれましては、関連サイト「省エネ・節電特設サイト」に掲載しております、冬季の省エネ・節電メニュー、リーフレットを参考にいただき、省エネに取り組んでいただけますようお願いいたします。

また、政府自らも率先して、暖房中の室温の適正化や照明の削減など、省エネルギーの取組を実践します。

#### 関連資料

- ・ [冬季の省エネルギーの取組について](#) (PDF 形式: 742KB) 

#### 関連リンク

- ・ [省エネ・節電特設サイト](#) 

#### 担 当

資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部

省エネルギー課長 稲邑

担当者 安本、宇佐見

電話：03-3501-1511（内線 4541～4）

03-3501-9726（直通）

03-3501-8396（FAX）

## ◇ 第144回通商問題委員会の開催 ◇

第144回通商問題委員会が11月9日（水）にオンライン開催され（1）日本の繊維貿易の現状（2）各国とのEPA交渉状況等について説明があり意見交換が行われた。

### 1. 日本の繊維貿易の現況について

#### （1）輸出入全般の動向

##### ① 2022年9月の現況

円ベースでは、輸出は前年同月比117.9%、輸入は139.6%で、単月で輸出入共に増となった。ドルベースでは輸出前年同月比90.8%と落ち込み、円安の影響が出ている。

輸出（円ベース）は、前年同期比116.6%、と増加傾向にあるが、ドルベースでは99.0%となり通期でも円安の影響が出始めた。2019年同期比では111.4%と回復傾向がみられる。

また、輸入（円ベース）の前年同期比は122.9%と回復傾向にある。2019年同期比では110.8%、2020同期比115.4%となっており、前期に続き好調を維持している。

項目	2022年9月				2022年1月～9月			
	金額		前年同月比		金額		前年同期比	
	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース
輸出	84,641	591	117.9%	90.8%	728,125	5,689	116.6%	99.0%
輸入	520,468	3,637	139.6%	107.4%	3,507,373	27,261	122.9%	103.6%

②繊維品別輸出入実績（2022年1月～9月累計・前年同期比）

輸出（円ベース）		輸入（円ベース）	
繊維原料	119.6%	繊維原料	165.6%
糸類（紡績糸・合繊糸）	110.3%	糸類（紡績糸・合繊糸）	144.9%
綿糸	138.7%	綿糸	159.3%
毛糸	83.0%	毛糸	185.7%
合繊糸	115.5%	合繊糸	134.8%
織物	122.8%	織物	130.0%
綿織物	113.6%	綿織物	121.8%
毛織物	133.0%	毛織物	167.3%
合繊織物	126.7%	合繊織物	139.4%
二次製品	114.6%	二次製品	121.3%

（2）各国・地域別輸出入の動向

①輸出（2022年1月～9月累計 前年同期比（円ベース））

東南アジア（中国含む）：113.3%、米州：126.6%、欧州：124.0%、中国：111.2%、シェアは26.6%（前年比▲1.3pt）となっており、輸出額では前年同期を上回るもののシェアは微減である。

アセアン：115.9%、シェアは23.2%（前年比▲0.1pt）。シェアは前年同期並みであるが、輸出額は増加を維持している。

前年同期対比はすべての国で100%以上となり、世界計でも116.6%となった。2019年同期比でも116.6%であり、輸出金額ではコロナ禍以前の水準に回復している。

②輸入（2022年1月～9月累計 前年同期比（円ベース））

東南アジア（中国含む）：122.9%、米州：141.5%、欧州：118.4%、中国：122.1%、シェアは55.1%（前年比▲0.4pt）と輸入額は増加を維持したものの、シェアは微減である。

アセアン：123.4%、シェアは28.4%（前年同期比+0.1pt）と輸入額で増加を維持し、シェアでも微増となった。

前年同期対比ではマレーシアを除くすべての国に対して増加傾向を維持し、世界計でも123.0%と好調である。特にミャンマーからの輸入額は前年同期比182.7%と大きく伸ばしている。続いて、円安の影響を考慮する必要があるものの、大洋州では160.7%、米国で153.9%と輸入額の伸びが大きい。

## 2. 次回日程について

第145回通商問題委員会 日時未定

### ◇ 下請取引の適正化について、関係事業者団体に要請 ◇

令和4年11月25日  
経済産業省  
中小企業庁

経済産業省は、本日、経済産業大臣及び公正取引委員会委員長の連名による文書をもって、関係事業者団体約1,600団体に対し、下請取引の適正化について要請しました。

#### 下請取引の適正化について


昨今のウクライナ情勢や円安等の影響により、エネルギー価格や原材料費が昨年にも増して高騰しています。この状況が長期化する中、総じて外的要因の影響を受けやすい立場にある中小企業・小規模事業者には大きな影響が出ています。さらに、これから年末にかけて資金需要が高まる中、下請事業者の資金繰り等が一層厳しさを増すことが懸念されることから、下請事業者の資金繰りに支障を来すことがないように、下請取引の適正化を推進するため、各関係事業者団体に対し、下請代金支払等の適正化、適正な価格転嫁の実現に向けた取組を要請しました。要請の具体的な内容は、別添「下請取引の適正化について（関係事業者団体代表者宛て）」を御覧ください。

#### (参考)

「下請代金支払遅延等防止法」とは、下請取引の適正化、下請事業者の利益保護を目的とした法律です。

中小企業庁は、公正取引委員会と連携し、同法違反の疑いのある親事業者に対する検査、違反に対する改善指導等を行っています。

## 関連資料

- ・ [下請取引の適正化について（関係事業者団体代表者宛て）（PDF形式：347KB）](#) 

## 担 当

中小企業庁 事業環境部取引課長 鮫島

担当者：内川、大原

電話：03-3501-1511（内線5291～7）

03-3501-7061（直通）

03-3501-1504（FAX）

## ◇ 「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を踏まえた事業者支援の徹底等について要請 ◇

令和4年11月28日

経済産業省

中小企業庁

経済産業省は、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」が閣議決定されたこと等に伴い、新型コロナウイルス感染症の影響や物価高により、依然として厳しい資金繰り状況に直面している事業者がおられることや、年末・年度末に向けて、運転資金等の需要が高まることを踏まえ、中小企業・小規模事業者に対する金融の円滑化について、関係機関に対し、以下のとおり要請しました。

11月28日（月曜日）に「中小企業の金融の円滑化等に関する意見交換会」が開催され、年末・年度末に向けて資金需要が高まること等が考えられることから、政府当局者と、各金融機関の代表の意見交換を行いました。

西村経済産業大臣は、資金需要の高まる年末に向けて、条件変更や借換などの相談に加え、新たな資金需要についても、実情に応じて迅速かつ柔軟にご対応いただくよう要請するとともに、信用保証制度において、経営者が経営者保証の提供の有無を選択できる仕組みの検討等を早急に進め、年末に、経営者保証に依存しない融資慣行の確立に向けた施策を取りまとめること等を発言しました。

同日、意見交換会終了後に、西村経済産業大臣、鈴木財務・金融担当大臣等より、令和4年10月28日に閣議決定された「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を踏まえ、


- 業況を積極的に把握し、資金繰り相談に丁寧に対応するなど、事業者のニーズに応じたきめ細やかな支援の徹底

- 条件変更や借換え等に対して、事業者の実情に応じた迅速かつ柔軟な対応の継続
  - 借換保証制度の円滑かつ迅速な実施。日本公庫のスーパー低利融資やセーフティネット貸付の積極的な活用
  - 「業種別支援事例集」も活用しつつ、事業者の収益力改善・事業再生・再チャレンジの総合的支援に努めること等を関係機関に対し、要請しました。
- 各機関への配慮要請文は別添を参照ください。

#### 関連資料

- 配慮要請文「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を踏まえた事業者支援の徹底等について（PDF形式：226KB）

#### 関連リンク

- 「中小企業の金融の円滑化等に関する意見交換会」について

#### 担 当

中小企業庁 金融課長 神崎

担当者：来島、太田、小林

電話：03-3501-1511（内線5271）

03-3501-2876（直通）

03-3501-6861（FAX）

## ◇ JFW-JC2023/PTJ2023AW 開催報告 ◇

日本ファッションウィーク推進機構

日本ファッションウィーク推進機構（以下JFW）では11月展の開催に向けて、新型コロナウイルスの発生状況を継続的に注視しながら開催準備を進めて来ました。特に会場である東京国際フォーラムと密接に連携し、必要と思われる感染症対策を実施し、最大限の配慮で展示会を開催しました。現在の繊維・ファッション業界は未だかつてない厳しい状況に置かれています。コロナ禍に加え、不透明なウクライナ情勢、原燃料の高騰、中国のロックダウンや世界的な物流の混乱等、緊急事態宣言による行動制限が無いこと以外、年々厳しい要素が増えている。それでも日本で唯一の繊維総合見本市JFW JAPAN CREATION（JFW-JC）と、今回で23回目を迎えるビジネス商談会Premium Textile Japan（PTJ）への開催要望は強く、この状況下においても全国から300

社を超える繊維関連企業が出展。改めてPTJ、JFW-JCが繊維・ファッション業界において重要なイベントとなっている事を感じさせられる会期となった。

#### 《展示会概要》

- ◇ 日時：2022年11月1日（火）～2日（水）10:00～18:00
- ◇ 会場：東京国際フォーラム ホール 展示ホールE+ロビーギャラリー
- ◇ 後援：経済産業省 独立行政法人中小企業基盤整備機構  
独立行政法人日本貿易振興機構 日本繊維輸入組合  
日本繊維輸出組合 一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会

#### ■ 来場者数：約11,000人

初日の午前中は静かな立ち上がりだったが、午後には人の流れが増えた。また、海外バイヤーも少ないながら散見され、渡航条件緩和の効果の兆しが見える。2日目は終日来場者が途切れず訪れ、特に午後はコロナ禍前を彷彿させる賑わいが戻り、場内各所で熱心な商談が繰り広げられた。特にここ2～3回は、若手デザイナーの来場が多く見られた。

#### 【来場者分析】

出展者から要望の高い11月上旬の開催を実現させた今回展。来場者数は約11,000人（前年対比92.5%）。カテゴリ別に見ると「アパレル」の来場者が昨年と変わらないのに対し、52%と大きく減少したのが「学生」。これは会期翌日の11月3日（文化の日）が学生にとって一大イベントである「学園祭」直前だった事によるもの。また、地方（特に名阪地区）の商社・コンバーターにとって週の真ん中に休日があると、出張を控える傾向もあった。だが、東京国際フォーラムの入場者数自動集計では昨年対比3%の微増という結果となり、スキャンデバイスでの集計数と違う結果となった。また、2日目に比べ来場者が少なかった初日だが、平均滞留時間は昨年よりも著しく増加しており、熱心な商談が行われた事が伺える。

#### ■ トренд&インデックス・コーナーとJFW サステナブル・プロジェクト

トレンド&インデックス・コーナーはJFW Textile View 2023 A/Wに基づき、企画開発した出展者の素材を編集展示したトレンド・コーナーと、出展各社の新商品・イチ押し素材を展示するインデックス・コーナーで構成され、毎回趣向を凝らした施工が話題となる注目のコーナー。今回は特にサステナブル・コーナーの展示法に工夫を加え、よりJFWサステナブル・プロジェクトと連動した素材編集と、7分類の解説パネルを掲示する事で来場者がより深く学べるコーナーとした。解説パネルにはQRコードを掲示し、それを読み込む事で各自のデバイスで見られる様になりました。それに伴い、会場内での撮影禁止を今回より解除しています。

## 【 JFW JAPAN CREATION 2023 】

◇ 来場者：バイヤー及び招待者、業界関係者、学生 <Web 事前登録者に限定>

□ 出展者数：54件／261社／198.9小間（前年実績：52件／293社／187.9小間）昨対105.8%

件数／小間数	件数	<総企業数>	小間数	<新規>	<復活>
国内	53	250	192.9	3件/3小間	5件/8小間
海外	1	11	6	0件/0小間	0件/0小間
合計	54	261	198.9	3件/3小間	5件/8小間

\* 新規出展：ceceposya、日新プリント(株)、(株)ラカム

\* 復活出展：アルファライン(株)、ザ・ウールマーク・カンパニー、新内外綿(株)、(株)トヨシマビジネスシステム、J<sup>∞</sup>Quality事業

### <ゾーン別内訳>

ゾーン	件数	総企業数	小間数	新規	復活
1：テキスタイル	37	199	142.7	1件/1小間	1件/2小間
2：服飾資材	7	13	11	1件/1小間	1件/1小間
3：繊維関連・製品	5	5	8	1件/1小間	3件/5小間
4：皮革・毛皮	5	44	37.2	0件/0小間	0件/0小間
合計	54	261	198.9	3件/3小間	5件/8小間

JFW-JCは出展者数・小間数共に前年を上回りコロナ過前以上の規模となっている。復活出展も5社となり、特にザ・ウールマーク・カンパニーのブースでは多くの来場者で賑わった。各組合のブースでは産地の特色や強みを前面に打ち出すなど、持続可能性に向けた提案が目立った。各工程が分業で成り立ってきた日本の繊維産業にとって個社が社会課題の解決出来る事は決して大きくはないが、それでも各社がサステナビリティに真摯に向き合い、今回も多く該当素材を出品した。



## 【 Premium Textile Japan 2023 Autumn/Winter 】

◇ 来場者 : バイヤー及び招待者限定 [入場無料]

◇ 出展者 : 書類及びスワッチ審査を通過した厳選出展者 (団体出展不可)

□ 出展者数 : 72 件 / 103 小間 (PTJ2022AW実績 : 66 件 / 98.5 小間)

昨対 104.5%

件数/小間数	件数	小間数	<新規>	<復活>
国内	65	96	2件/2小間	6件/5小間
海外	7	7	2件/2小間	2件/2小間
合計	72	103	4件/4小間	8件/8小間

\* 新規出展 4 社 : ファインテキスタイル(株)、ダイヤミック(株)、GBT.LTD(インド)、ILJOONG GLOBAL(韓国)

\* 復活出展 8 社 : BE FREE、(有)田中刺繍、(株)タナベ刺繍/渡辺産業(株)、(株)ナカジマ、(有)久山染工、モナ・ニット(株)、SFT Inc.(韓国)、Stella Blu Textile(香港)

\* 海外 7 社 : イタリア、インド、韓国、中国&ベトナム、トルコ、香港

◇ PTJ ゾーン別内訳	件数	小間数	<新規>	<復活>
A: 織物短繊維(コットン、麻、ウール、複合)	30	39	1件/1小間	3件/3小間
B: 織物長繊維(化繊、シルク、機能素材、複合)	21	36.5	1件/1小間	0件/0小間
C: 染色・後加工、プリント、刺繍・レース、皮革	15	17	1件/1小間	4件/4小間
D: 服飾資材、ニットファブリック、擦糸、パイルファブリック	15	17	1件/1小間	4件/4小間
合計	72	103	4件/4小間	8件/8小間

PTJは出展者数・小間数共に前年を上回る規模となり、コロナ過前の規模に迫る回復傾向にある。特に復活出展が多いのも今回展の特徴の1つ。そんな中、今回より20回以上の出展者に対し、小間位置優遇サービスを実施した。対象企業は17社。対象企業は角小間か通路正面の小間位置を優先的に与えるもので、対象企業からは非常にポジティブな評価を受けた。また、出展者の多くは会期が早まった事に対し「染色などの工程がボトルネックとなり、納期が掛かるケースもある為、会期前倒しは有難い」との反応が多い。

## ◇ 絹・合繊織物の展示会開催等助成事業の公募 ◇

令和5年度 絹・合繊織物の展示会開催等助成事業の公募を下記のとおり実施します。

### 1. 公募期間

令和5年2月1日（水）～ 令和5年2月10日（金）

### 2. 公募方法

令和5年2月1日（水）にホームページ掲載

### 3. 事業の目的

日本独自の絹織物や高機能性を有する合繊織物の特性を広く国民にPRするとともに、新たな用途開発の促進により国民生活の向上に寄与するため、絹・合繊織物製造業者が行う展示会開催、新商品開発、情報発信事業への助成を行う。

### 4. 助成対象者

補助対象者が、次の（1）から（4）のいずれかに該当する者であること。（複数の補助事業者が連携して事業を実施することも可能ですが、代表となる者が取りまとめて申請してください。）

- （1）中小企業等協同組合法（昭和24年法律第181号）に規定する事業協同組合、事業協同小組合又は協同組合連合会
- （2）中小企業団体の組織に関する法律（昭和32年法律第185号）に規定する商工組合又は商工組合連合会
- （3）（1）又は（2）以外の、法律に規定する組合又は組合連合会であって、地域中小企業の振興を図る事業の実施主体として適当と認められるもの。
- （4）上記（1）から（3）に該当する者又は中小企業者（注1）を主とする4者以上の連携体であって、1者以上は絹・合繊織物の製造事業者で上記の（1）から（3）に該当する者の推薦を受けているもの。ただし、助成金を受ける者は代表者であるため、代表者が支出する経費についてのみ助成金の対象になります。  
（注1）中小企業者とは、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条に規定する中小企業者をいいます。

### 5. 助成の内容

- （1）原則1/2補助
- （2）助成対象経費は、本会が定める対象経費として明確に区分できるもので、かつ証拠書類によって金額等が確認できるもの（いつでも提示可能なもの）。

なお、人件費（組合職員）、事務所等に係る家賃、光熱費、電話料金等、社会通念上不適切と認められる経費は対象となりません。

## 6. 対象事業

絹・合繊織物の普及に繋がる下記の事業とする。

- ① 新商品の開発（試作品・製品化・実用化）・普及
- ② 展示会（国内外）の開催・販路開拓・直販体制の構築
- ③ 広告・宣伝（消費者PR）
- ④ その他（絹・合繊織物の普及に繋がる事業）

## 7. 申請手続き

令和5年2月1日（水）～ 令和5年2月10日（金） 17時まで（必着）

【公募申請書（事業計画書）の提出先及び問い合わせ先】

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-4-8

一般社団法人 日本絹人織織物工業会 担当 松尾

TEL 03-5244-4243 FAX 03-5244-4244


## ◇ セーフティネット保証5号の対象となる指定業種 ◇

（令和5年1月1日～同年3月31日分）

令和4年12月16日  
経 済 産 業 省  
中 小 企 業 庁

## 概要

業況の悪化している業種に属する事業を行う中小企業者を対象とするセーフティネット保証5号について、令和5年1月1日から同年3月31日までの対象業種を、次の通り指定することを予定しております。

- ・ [セーフティネット保証5号の指定業種一覧（令和5年1月1日～同年3月31日）](#) (PDF形式：497KB) 

(補足)セーフティネット保証(5号含む。)について

- ・セーフティネット保証の指定期間とは、中小企業者の住所地を管轄する市区町村長に対して事業者が認定申請を行うことができる期間をいいます。
- ・指定期間内に市区町村に認定申請を行った場合には、認定書の発行、及び金融機関又は信用保証協会へのセーフティネット保証の申込みが指定期間後であった場合でも、セーフティネット保証の対象となります。
- ・認定書の有効期間は認定の日から30日です。認定書の有効期間内に、金融機関又は信用保証協会へセーフティネット保証の申込みをすることが必要です。

(本発表のお問い合わせ先)

中小企業庁事業環境部 金融課 神崎

担当者：鈴木、瀬下、松本

電話：03-3501-1511

03-3501-6861 (FAX)

## 動 向

- 11月 9日 日本繊維産業連盟 第144回通商問題委員会
- 11月17日 日本繊維産業連盟 幹事会
- 11月22日 経済産業省 第11回和装振興協議会
- 12月 5日 第5回和装(きもの文化)ユネスコ登録推進・連絡協議会
- 12月15日 日本繊維産業連盟 第2回常任委員会  
技能実習適正化推進委員会・取引適正化推進委員会
- 12月19日 繊維評価技術協議会 2022年度第4回理事会

## 会議予定

☆ 西陣織工業組合 令和五年 新年総会・優良従業員表彰式

1月 6日(金) 15時～16時20分 於：京都ブライトンホテル1F  
慶祥雲の間

☆ 日本繊維産業連盟 令和5年総会、新春講演会

1月24日(火) 役員総会 14時～15時50分

新春講演会 16時～16時50分

於：東京プリンスホテル2F サンフラワー

☆ 当会 日絹工業会・日絹連合会 理事会、懇談会

3月16日(木) 理事会 15時～17時

懇談会 17時～19時 於：KKRホテル東京

## イベント

☆ きもの十日町 新春魁展

【東京】 1月17日(火) 11時～17時

18日(水) 9時～16時

会場：綿商会館1F(受付)・4F

【京都】 1月24日(火) 14時30分～17時

25日(水) 9時～17時

26日(木) 9時～13時30分

会場：京都市 丸池藤井ビル3F

☆ The Japan Observatory at MilanoUnica 2024 Spring/Summer

1月31日(火)～2月2日(木) 9時～18時30分

会場：イタリア ミラノ市 ローフィエラミラノ

☆ 東京インターナショナルギフトショー春2023

2月15日(水)～17日(金) 10時～18時 (最終日は17時まで)

会場：東京ビッグサイト 東・西展示棟

☆ 長浜きもの早春のつどい2023

2月18日(土) 15時～20時30分

会場：長浜市 Hotel & Resorts NAGAHAMA、慶雲館

☆ 二〇二三桐生織物求評会

2月21日(火) 10時～17時

22日(水) 9時～16時

会場：綿商会館 3・4F

☆ Intertextile 上海 Apparel Fabrics Japan Pavilion 2023 Spring Edition

3月 8日(水)～10日(金) 9時～18時

会場：中國國家會展中心

- ☆ Premium Textile Japan 2024 Spring/Summer  
5月24日(水)～25日(木) 10時～18時  
会場：東京国際フォーラム ホール E2
  
- ☆ TOCHIO TEXTILE COLLECTION '24 S/S ORINAS EXPO  
5月中旬開催予定  
会場：表参道・新潟館 ネスパス3F
  
- ☆ The Japan Observatory at MilanoUnica 2024 Autumn/Winter  
7月11日(火)～13日(木) 9時～18時30分  
会場：イタリア ミラノ市 ローフィエラミラノ
  
- ☆ JFW JAPAN CREATION 2024  
10月31日(火)～11月1日(水) 10時～18時  
会場：東京国際フォーラム ホール E1
  
- ☆ Premium Textile Japan 2024 Autumn/Winter  
10月31日(火)～11月1日(水) 10時～18時  
会場：東京国際フォーラム ホール E2
  
- ☆ 小千谷織物 新作発表会
  - 【東京】 12月 5日(火) 10時～17時  
6日(水) 9時～16時  
会場：綿商会館3F
  - 【京都】 12月 7日(木) 10時～17時  
8日(金) 9時～16時  
会場：京都市 京都友禅ビル3F

## 官公庁・団体からの案内情報

《 経済産業省 》

- ・事業再構築補助金

<http://jigyouseisakouchiku.go.jp>

- ・新型コロナウイルス感染症関連

～経済産業省の支援策(2022年10月29日時点)～

<https://www.meti.go.jp/covid-19/index.html>

《 厚生労働省 》

- ・ 年次有給休暇取得促進特設サイト

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/kyuuka-sokushin/>

- ・ 働き方・休み方改善ポータルサイト

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/>

- ・ 「しわ寄せ」防止特設サイト

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/shiwayoseboushi/>